

ITU-R SG3及びSG3関連会合(令和5年6月) の議論の報告(案)

ITU-R SG3会合及びSG3関連会合 開催概要

開催期間	2023年5月22日（月）～6月2日（金）
開催場所	ITU本部（スイス連邦 ジュネーブ）、Virtual Sessions
概要	32か国、27機関から210名（うち、我が国からは15名）が出席し、4つのWP会合宛に合計156件の寄与文書、SG宛に39件の寄与文書が入力された。

我が国から入力した寄書について

入力先WP	題目	議題	提供元
3J/3K/3M	2, 26, 97, 158 GHzにおける建物侵入損失測定	-	ソフトバンク(株)
	ITU-R勧告P.2109-1への改訂提案	-	ソフトバンク(株)
	ITU-R勧告P.1409-2への改訂提案	-	ソフトバンク(株)
3K/3M	ITU-R勧告P.452におけるクラッター損失の測定結果	-	ソフトバンク(株)
	ITU-R勧告P.2108におけるクラッター損失の測定結果	-	ソフトバンク(株)
	文書3K/264 Annex8 Item 8に対する支持文書 都市内見通し確率推定モデルの検証結果	-	日本電信電話(株)
3K	都市内マクロセル環境における2-300GHz伝搬損失特性の追加検討	-	日本電信電話(株)
	232-500GHz帯屋内伝搬測定	-	(国研)情報通信研究機構
	58GHz帯における動的な人体遮蔽特性とその予測に関する討論文書	-	東京工業大学
	300GHzにおける屋内伝搬モデルに関する討論文書	-	新潟大学

① ITU-R 勧告 P.1238（屋内無線通信システム等のための伝搬データと推定モデル）の改訂に向けた検討【WP3K】

前会期の議長報告、英国寄書、韓国寄書が議論され、勧告の表のパラメータ等の修正がなされた。我が国からの寄書である300GHzにおける屋内伝搬モデルに関する討論文書はCG3K-6で継続議論されることとなった。232～500GHz帯屋内伝搬測定に関する寄書に関しては、大気減衰に関するコメントが議長報告に記載されることとなった。人体遮蔽特性とその予測に関して、我が国の寄書や米国寄書、韓国寄書が議論された。人体遮蔽の効果的なパラメータを定義し、新ITU-R 勧告の暫定改訂案を作成するための新しいCGであるCG-21が設立されることとなり、継続議論されることとなった。

② ITU-R 勧告 P.1411（短距離屋外無線通信の伝搬データおよび予測手法）の改訂に向けた検討【WP3K】

前会期の議長報告、CG3K-6寄書が議論され、勧告の表へパラメータが追加された。我が国からの寄書である都市内見通し確率推定モデルの検証結果はCG3K-6で引き続き議論されることとなり、前会期の議長報告（3K/264 Annex8）Item 8に対する支持文書の寄書はLOS確率について更なる議論が必要とされ、WP3K議長報告へ掲載されることとなった。

③ ITU-R 勧告 P.2109（建物侵入損失の予測）の改訂に向けた検討等【JWG BEL】

ITU-R 勧告 P.2040-2に記載されている建物侵入に関する用語や測定方法はITU-R 勧告 P.2109へ移されることとなり、ITU-R 勧告 P.2109の改訂案がSG3にて承認された。我が国の寄書、米国寄書と前会期のWP3K議長報告をもとにサイトスペシフィックモデルの開発に向けた検討等に関する議論がなされ、引き続き検討すべき内容として議長報告へ掲載されることとなった。また、我が国の寄書の内容がITU-R 報告 P.2346へ新章として追加された。

④ ITU-R 勧告 P.2108（クラッター損失の予測）の改訂に向けた検討【JWG Clutter】

我が国の寄書、米国寄書、英国寄書、中国寄書等が入力され、本勧告の3.3節の地上-宇宙/上空のクラッター損失モデルの適用周波数範囲を10 GHz以下へ拡張するための改訂作業に関する議論が行われたが合意には至らず議長報告へ掲載されることとなった。

⑤ ITU-R 勧告 P.452（0.1GHz以上の地表局間干渉評価に必要な推定法）の改訂に向けた検討【WP3M】

米国寄書、CG3M-10寄書、前会期の議長報告をもとに、Section 5の大気水象散乱モデルの改訂が合意された。また、我が国の寄書、スイス寄書、キューバ寄書等から地形とクラッターを重畳したBullington法による計算方法の妥当性に関する議論がなされ、本検討は合意された。これらの合意された内容により改訂案が作成され、SG3にて承認された。一部の検討は引き続き検討すべき内容として議長報告へ掲載されることとなった。

⑥ ITU-R 勧告 P.1409（HAPS等のデータ伝搬と予測方法）の改訂に向けた検討【WP3M】

我が国の寄書より前会期で継続検討として議長報告に記載されたSection 3の人体遮蔽損失モデルに関する移動局側到来角モデルについて、ヘリコプターを用いた測定結果を基に一部更新され、本モデルがHAPSのシナリオに適用可能であることが検証され、合意された。また、CG3J-3K-3M-14寄書、前会期の議長報告をもとにSection 2の干渉検討用モデル内の他勧告の使用方法についての改訂内容が議論され、合意された。これらの合意された内容により改訂案が作成され、SG3にて承認された。

SG3ではWP3J、3K、3L、3Mより上程された25件が採択・承認された。所掌する勧告は83件あるが、今会合では18件の改訂（うちエディトリアルな修正2件）がなされた。所掌する研究課題は26件あるが、今会合では3件の改訂、1件の新研究課題追加がなされた。所掌する報告は14件であるが、今会合では2件の改訂がなされた。

SG3会合での採択又は承認の結果

WP	担務内容	勧告（採択）	報告（承認）	研究課題（採択）
3J	基本伝搬	2件（改訂） P.840, P.2040 2件（エディトリアルな修正） P.341, P.453	0件	0件
3K	ポイント・エリア伝搬	6件（改訂） P.1238, P.1410, P.1411, P.1546. P.1812 P.2109	2件 P.2346 P.2406	3件 203-8/3 211-7/3 235/3
3L	電離圏伝搬及び電波雑音	3件（改訂） P.371, P.531, P.1239	0件	0件
3M	ポイント・ポイント伝搬・地球衛星間伝搬	5件（改訂） P.452, P.618, P.1144, P.1409, P.2001	0件	1件 （新規追加）
合計		18件	2件	4件